

## 30-1

## 水質テレメーターシステム

## 希望価格・選定例

## 1. テレメーターを下記3タイプから選びます

型式	希望価格 (税抜)
NI-TEBX	¥1,500,000
NI-TEBY3	¥1,800,000
NI-TEBN	¥1,600,000

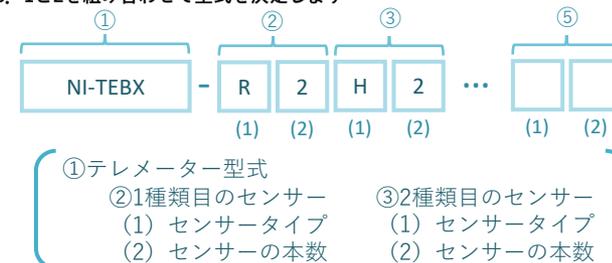
※データ処理ソフト、閲覧用ホームページ作成費込み  
※設置作業費については要相談

## 2. 付属センサーを選びます (最大6本・5種類のセンサー)

機種名	観測項目	価格 (税抜)	型式
ACTW-CAD	水温・塩分	¥1,054,000	T
ACLW2-CAD	水温・クロロフィル・濁度	¥1,104,000	L
AROW2-CAD	水温・溶存酸素	¥974,000	R
AHIW2-CAD	水温・クロロフィル・FSI※	¥1,334,000	H
AEM-CAD	水温・流向流速	¥1,084,000	E

※FSIとは、JFE Advantech(株)が開発した有害赤潮フラクトン  
(カレニア・シャットネラ)の有無を判断するための指標です。

## 3. 1と2を組み合わせて型式を決定します



扱いやすく、軽量

型式：NI-TEBX  
(ボックスタイプ)

寸法：35cm×W25cm×D15cm  
重量：約16kg

土台が無くても設置可能

型式：NI-TEBY3  
(パイタイプ)

寸法：φ50cm×H70cm  
重量：約25kg

海底にも設置可能な耐圧型

型式：NI-TEBN  
(高耐久タイプ)

寸法：φ35cm×H40cm  
重量：約30kg

## 動作イメージ

定時観測  
データ送信

観測データの  
計算・処理

PC・スマホで  
最新値を閲覧



サンプルページ

設定値を超えると  
警報メールを送信

定期観測の自動化  
リアルタイム化  
連続データの取得

現場環境のデータ化  
長期データの取得  
他年度水質との比較

グループ内での  
円滑な情報共有 (一般公開も可)

水質異常時の  
対策の迅速化

## 導入効果

- 環境データの自動取得で省人・省力・省コスト化 データのリアルタイム化
- 観測データを基にした飼育管理の最適化、赤潮・魚病による被害の低減
- 水質観測、環境データ取得にかかるコストを8割以上削減

(人力での観測を毎日実施した場合と、24時間自動観測時(週1回の清掃のみ)を比較した場合)

## 設置・導入例



地 点：愛媛県魚類養殖場  
接続センサー：HIW2-CAD...2本、ROW2-CAD...2本  
型式：NI-TEBX-R2H2  
観測水深：2m・5m  
活用方法：HIWとROWを各層に1本ずつ設置し、赤潮の日周変動や層毎の水質データの取得に利用。



地 点：愛媛県愛南町沖養殖場  
接続センサー：HIW2-CAD...2本、ROW2-CAD...2本  
型式：NI-TEBY3-R2H2  
観測水深：2m・5m  
活用方法：HIWとROWを各層に1本ずつ設置し、赤潮の日周変動や層毎の水質データの取得に利用。

## 連絡先

株式会社 西村商会

担当：柴原  
携帯：090-3463-5194  
Mail：cag95340@pop13.odn.ne.jp

## 30-2

## 自動顕鏡システム

## 製品画像



型 式 : seaMS  
 寸 法 : W460×D280×H275  
 重 量 : 約5kg (洗浄水含まず)  
 希 望 価 格 : ¥1,000,000



## seaMSとは？

「seaMS」は特定水深の採水、顕微鏡での動画撮影、動画の送信、観測部の洗浄を自動で行うリモート顕微鏡です。

観測タイミングは定時起動・リモート起動のどちらでも可能で、海上のプラットフォームに設置・稼働させることで、顕微鏡による観測動画を陸上でリアルタイムで確認し、赤潮対策の効率化に貢献します。

## 導入の効果

- 採水作業・運搬・検鏡等の作業に係る省人、省力、省コスト化
- 観測にかかる作業時間が8割以上短縮
- 赤潮プランクトン種等の判別の迅速化

希望価格：¥1,000,000

## 撮影例)



サンプルページ

株式会社 西村商会

担当：柴原  
 携帯：090-3463-5194  
 Mail：cag95340@pop13.odn.ne.jp